

2017 年度支援報告

1. 定期支援

① 以前からの支援校

サルム・ジャネ小学校に 40,000 円

ンジャゴ第一小学校に 40,000 円

ンジャウ・マリック小学校に 40,000 円

ンガディ・ナウデ小学校に 40,000 円

サルム・ジャネ中学校に 80,000 円

サーバシ・チャムアラブ学校に 20,000 円

サーバシ・チャム小学校に 40,000 円

クール・マジヤベル小学校に 40,000 円

バンブガール・マサンバ小学校に 40,000 円

ンガディ・オルディ小学校に 40,000 円

ジム・モマール・ゲイ中学校に 100,000 円*注

*注 支援開始後 3 年未満です。

② 新規支援

ンジャゴ第二小学校に 50,000 円

バオバブの会の現地代理人、ジム・モマール・チャムさんの故郷、ンジャゴ村にあるンジャゴ第一小学校には、ジムさんへのお礼の意味もあり、会発足から間もなく支援を始めました。その後、同村にできた第二小学校からも支援の要請が来るようになりましたが、今回ようやく支援開始が実現。男子 54、女子 74、計 128。小学校課程修了試験、中学校入学試験の成績も優秀な学校です。

ンジャゴアラブ学校に 30,000 円

同じくンジャゴ村にあるイスラム系学校。95%がムスリムであるセネガルではイスラム系学校が地域で果たす役割が大きいということがあり、支援開始を決定しました。現在 2 学年構成で、男子 48、女子 30、計 78 が学んでいます。



この学校にはまだ教室がなく、左写真の左上、右写真の右に一部が写っている大きな木の下で授業が行われています。左の写真は、支援金が届いたので、学校の先生や村の人々が集まっているところで、真ん中で立って話しているのは、会計を担当し、運営の中心になっている先生です。

2. 障がい児支援

障がい児を支援する教師の会（ジャロさんグループ）に 40,000 円

ユネスコクラブ（クール・マジヤベル聾啞学校）に 50,000 円

↓ 障がい児を支援する教師の会による、学用品授与式の写真です。バオバブの会からの支援金が届くと、学用品（スクールバッグ、ノート、テキスト、ボールペンなど。今年度は 35 人分）を用意し、授与式を行います。地域の人々が集まった晴れやかな場で学用品を授与することは、子どもたちの通学を励まし、未就学児とその親たちにも就学への意欲を高めます。



3. 施設整備・自立支援

① クール・アラサン・ジャロ小学校のトイレ新設に 100,000 円

ディウフ会長が中学校時代を過ごしたフンジェン県にある小学校。創立から間もない小さな小学校ですが、先生方が学校運営にたいへん意欲的で、小学校課程修了試験、中学校入学試験とも優秀な成績をおさめています。男子 43、女子 50、計 93。

↓学校遠景。左手前が新設のトイレ。右後方が校舎。↓トイレ。男子用、女子用、先生用の3つ。

↓壁には、セネガルと日本の国旗、バオバブの会を表すバオバブの木、MERCI（ありがとう）という文字。



② バンプガール・マサンバ小学校の菜園計画に 97,000 円

2016年度に予定していましたが、校長が変わったため実施できませんでした。本年初頭に新しい校長と連絡が取れ、引き続き菜園作りを進めるということになりましたので、送金しました。

左 菜園は学校から少し離れたところにあります。

中 井戸を掘りました。

右 植えた苗に水を撒いています。



左 マンゴーを植えました。

中・右 2種類のピーマン、キャベツ、ミントも植えました。

